

2022年度

社会貢献事業報告書

一般社団法人リトルグリーン

一般社団法人リトルグリーンの社会貢献事業が目指すもの

日本で生活している子ども達が、当たり前にご飯を食べ、元気いっぱい勉強や遊んだりする事のできる社会の維持、又、これから訪れるであろう日本の苦境の時代においても、先ずはご飯を食べることができる社会の実現。

私達の思い

この度は当法人のお米「イツ グリーン パール 2022」を御購入頂き誠にありがとうございました。おかげさまで社会貢献事業をさせて頂くことができました。本当にありがとうございました。

当法人の社会貢献事業は私達の経験が原点です。皆様は親族やご近所の方に野菜など頂いたことはありませんでしょうか？トマトや大根、白菜、きゅうりなど一度に大量に「貰ったのはいいけれど、どうやって食べたらいいの…？」と思うくらい最初は戸惑いました。しかし、何とか無駄にする事がないようにと思い料理の経験やレパートリーが増えていくごとに、美味しい料理に、しかも食材を無駄にせず食することができるようになりました。そうしたところ食費も抑えられ、尚且つ小学生くらいの子供たちの体は1年もすれば背も伸びている、目に見えて成長していることが実感(子供たちにとコミットした理由はここです。成果がわかり易いからです。)できます。これらの事は当たり前のことのようにですが、よくよく考えてみると、とても幸せなことなのだと気付いた事が始まりです。どういう訳か私達がそうして頂いたように、社会に対して同じようにお返しすることができたならば良いのではないかと私達のように感じる方がいるのではないかと、そのように考えました。

私達は社会貢献事業に“寄付”という言葉を用いていますが、実はそうではなく他者をも“巻き込んで”社会貢献事業をさせて頂いております。お米だけあっても食べられません。料理に変えてくれるお母さんや学校給食の栄養士さん調理員さんの力をお借りしております。そして、石巻圏域子ども食堂連絡会議の皆様は、支援が必要なご家庭にピンポイントでお米を届けてくれます。そんな家庭があるのか？と疑問に思われるでしょうが、本当なんです。全体からするとごく僅かですが、そのような情報を私達は持ち合わせていませんので、やはり皆様の力が必要になってきます。ですが、この事を一言で何と表現すればいいのかわかりませんのでこれからも寄付という言葉を使いますが、気持ちとしては沢山の人の力をお借りしてより良い社会にしていくべく活動していきたいと考えております。

せっかくこの世に人として生まれたのだから、せめて恋や青春なんて経験を試してみてもいいじゃないですか。5才や10才とかで腹減って亡くなりましたなんていうのはちょっと寂しいと思います。

そのような事が起きる要因は複雑な理由があると思いますが、もしかしたら解決策は意外と単純なことだったりすると信じて社会貢献事業をさせて頂いております。

当法人のこれから

今回は学校給食にも関わらせて頂くことができました。地方の小学校(宮城県)では「家でちゃんと食事をしているのだろうか?」と思われる子が少なからずいると話を聞きました。ならば都市部ではもっとあり得ることだと推測できます。梅島小学校様に「お米を寄付することで余った給食の予算でお肉を大盛りにしてあげてください。」と提案してきました。大人になったら食べ過ぎるのは体に良くありませんが、子供の頃はしっかり食べて体をつくることも仕事の内だと考えております。次回も継続したいと考えております。

なにせよ、お米が収穫できなければ社会貢献事業ができないという条件がある法人ですので、まずはお米作りに集中して、次回はもっと社会貢献事業を拡大して行えるように、そして他にも良い方法はないかと考え続けていきたいと思えます。勝負なのは2023年、本当に意味がある事かどうかわかるのは2025年からだと思っています。

一般社団法人リトルグリーン

代表理事 須藤 悟

2023年 2月 記す